

はびきの市民大学情報誌

はびきの市民大学だより

はびきの市民大学公開講座

読書感想文を書いてみよう

「感じたことを自由に書いてみよう」。読書感想文を書くときによく言われる言葉です。でも「自由」に書くのはそう簡単なことではありません。感じたことをどうやったら形にできるのか。どうやったら読む人に伝わるのか。その方法を学ぶ講座です。

【日時】8月8日(火) 14時30分～16時00分

【場所】LICはびきの3階 視聴覚室

【講師】武庫川女子大学文学部 非常勤講師 森本智子

【定員】48人 ※先着順

【対象】小学4年生～6年生

【受講料】500円

【申込方法】来館・電話・FAX

【申込期間】6月4日(日)～8月3日(木)

【支払方法】来館・銀行振込



学長コラム【第45回】



河内厚郎
(はびきの市民大学学長)

「文藝春秋」が、文壇のボスだった、菊池寛(小説家・劇作家)の創刊から百周年を迎えた。

他誌が危機に瀕すると売れ行きが伸びるという。人間、金がなくなって節約するときは二番目・三番目から切っていくからだ。菊池寛という「偉大な常識人」にふさわしく、明るい批評精神が雑誌のカラーになっている。

芥川賞と直木賞、ことに新人を発掘する芥川賞をつくった功績は大きい。座談会という形式を発明したこともヒットで、作家や評論家が、自作もふくめ作品を客観的に論ずる、サロンの「場」がうまれた。

文藝春秋4月号では、パーグルエン哲学・文学賞を受賞した文芸評論家、柄谷行人氏(81)がいまの思いを語っている。米国のシンクタンクが「哲学のノーベル賞」をめざし創設した同賞の賞金は百万ドル(受賞時の為替レートで約1億4千万円)。氏の受賞理由は「グローバル資本主義とナショナリズムへの独創的批判」とある。

柄谷氏は、わたしの中学高校の先輩に当たる。

6月の聴講のご案内

① 『三国志演義』の英雄たち

火曜 10:30～12:00

6/6	本当の曹操-偉大なる政治家・兵法家、そして詩人	岡山大学 名誉教授・日本杜甫学会会長 下定雅弘
6/20	魏の英雄たち: 郭嘉・荀彧・司馬懿他	
6/27	蜀の英雄たち: 劉備・関羽・張飛・諸葛孔明他	

③ 星と宇宙と私たち

水曜 10:30～12:00

6/14	太陽と恒星 - 夜空に輝く星々の姿とその行く末	自然教育事務所 宙 田島由起子
6/21	銀河と宇宙 - 目には見えない宇宙の姿とその果てへの旅	
6/28	宇宙観の変遷 - 西洋と東洋・科学と宗教	

④ オペラからミュージカルまで、音楽劇のジャンルあれこれ

【大阪音楽大学提携講座】

水曜 14:30～16:00

6/7	商業劇場の誕生とオペラ・ブッファ	大阪音楽大学 講師 芝池昌美
6/14	ドイツの音楽劇: ジングシュピールと楽劇	
6/21	フランスの音楽劇 その1: トラジェディ・リリックとグラントペラ	
6/28	フランスの音楽劇 その2: オペラ・コミック	

⑥ 大阪のモダニズム - 美術、音楽、建築、文学 - 文化的視点から

【学長企画講座】

土曜 10:30～12:00

6/3	都市のフラヌール(遊歩者)、大大阪時代を行く 1 道頓堀・心斎橋筋とモダンアート	大阪大学 教授 橋爪節也
6/10	都市のフラヌール(遊歩者)、大大阪時代を行く 2 御堂筋と堺筋、アートと都市景観	
6/17	関西の近代音曲: もうひとつのモダニズム	大阪大学大学院人文学研究科 教授 輪島裕介

⑦ 古生物学が面白い - 恐竜やクジラの進化をまなぶ -

土曜 14:30～16:00

6/10	恐竜以前の生き物を紹介します。 骨や化石の基礎を学びます。	大阪市立自然史博物館 田中嘉寛 (博士・古生物学)
6/17	恐竜の進化を紹介します。	
6/24	哺乳類の進化を紹介します。	

- 場所 羽曳野市立生活文化情報センター(LICはびきの)3階 視聴覚室
- 申込 来館、電話、FAX
- 申込期間 当該講義日の1週間前から前日まで ※先着順。定員に達し次第、締め切りとなります。
- 聴講料 1講義につき800円(当日支払)

はびきの市民大学

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1丁目1番1号 LIC はびきの内
【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9時00分～17時30分(2階学習情報室 9時30分～16時30分) ※閉室は祝日・振替休日・年末年始

ご提出いただきました個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に管理いたします。

※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。

※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

はびきの市民大学

検索

